

「素材で楽しむ家づくり」紙・タイル・木などの素材から学ぶ

この講座では、住まいづくりで出会う素材たちを紹介します。素材はそれぞれ特長があり、使うのに適した場所があります。まずは、大きく素材の特長をつかみます。下の写真では、壁と天井に漆喰が塗ってあります。漆喰は無垢の木と共に部屋の空気を調湿し、整えてくれます。写真では真っ白に見えますが、光の当たり方で表情が微妙に変わるのも魅力です。



一方、キッチンや洗面所などでは、水に強いタイルやパネル材が必要になります。以前は、タイルというと目地のカビが嫌われ者でしたが、最近は換気扇の設置やタイル目地の性能向上で、ずいぶん扱いやすくなりました。下の写真のキッチンは、壁と収納カウンターに同じタイルを貼り、アクセントにしました。キッチンと部屋に一体感が生まれました。



タイルは土を焼いたもので、触れると土の重みが感じられます。一方、和紙や洋紙などは軽く、部屋を柔らかく包みます。住まいづくりは、少し先という方も、そろそろリフォームという方も素材たちに触れてみてください。アクセントになる絵柄のあるクロスを取り入れる際のコツや、色選びのワンポイントもお伝えします。

現状のお住まいでの、お悩みもお伺いします。少し見方が変わると、周りの建物も違ってみえてくるかもしれません。楽しみながら、住まいづくりの準備をしましょう！

講師：提携建築士 酒井哲・太田陽子